えんちょう先生の わくわくだより NO.１

H２８．４．１３

４４名の新入園児を迎え入れ(在園３歳児を含む)平成２８年度をスタートした岩村こども園です。３月に卒園した新一年生が、ピカピカのランドセルを背負って学校に向かう姿を「がんばれ！」と応援しながら、園では、不安いっぱいの小さいこども達が少しでも早く園の生活に慣れてくれる様にとの取り組みが続いています。「ママ～」と泣けて、遊び出せない子、登園門の前で寝転び、なんとなだめても「ここがいい～ここで寝てる～」とがんと動かない子には、年長さんが集まって、「ここがいいの？」と声を掛けてくれます。先生のそばにくっつきずめの子、外で遊ぶ内は良かったけれど、給食時間で部屋に入ったとたん大泣きが止まらない子。それでも日を追う内に、「ボール蹴るよ」の先生の声に、笑って走り出したり、「三輪車やりたい」と小さい声で言えるようになったり、先生の書いた地面の線をぴょんぴょんと跳んでみたり・・・ほんの少しずつ、気持を和らげながら、集団の中に入れつつあります。今までは自分のそばにはいつも守ってくれる家族の誰かがいたはずなのに、先生も友達も初めての中に入って生活をする小さなこども達の不安な気持に寄り添いながら、丁寧にゆっくり見守っていこうと私達職員も確認しあって一日が始まります。こどもの環境への適応する力は、大人が思っている以上に大きいです。大きくなりたい　みんなと遊びたいと、社会性を身につけていく第一歩をお家のみなさんと一緒に応援していきましょう。こどもは一人一人みんなちがってみんないいんです。少しくらい泣けても大丈夫！どんと構えて、「すぐに元気にあそべるさ」とおおらかに見守ってゆきましょうね。

ポエム

ちいさい　こ

ころんで　ないてる
ちいさい　こ
でも　ぼくね
おこさないで　みてたんだ
おきたら　えらいと
おもいながら
　ママがぼくに　するように

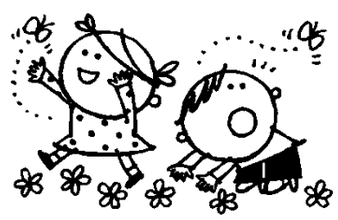
やっぱり　えらいな
ちいさい　こ
ほら　もうね
ないてないよ　めをふいた
ほこりを　はらって
しゃんと　たった
　ぼくがいつも　するように

まど・みちお

ひとつずつ大きい組になった在園のこども達。１年．２年と集団生活をしてい
何だかとても頼もしくみえます。新しい組．新しい先生や友達。年長さんは畑の取り組みも始まりました。年中さんは、元気いっぱい「行ってきま~す」と手を振って、桜見学に出発。元うさぎ組の新３歳児は、青いスモックがだんだん似合ってきて、年少児らしくみえるこの頃です。「小さい子が、このスクーターに乗りたがっているからちょっとだけ貸してやってくれない?」と声を掛ける先生に「いいよ！」といい返事。「さすが、お兄さんだねえ！」と誉められて「どう致しまして」と言いながらスクーターを小さい子に渡して走り去る年長さんの姿に、成長を感じ思わず笑みがこぼれます。小さい未満児組さんは、ちょっとした事に怒ったり泣いたりと賑わしい日々を先生達は、「あらあら」「どれどれ」と抱っこにおんぶの毎日、在園の子も新たな友達の泣き声につい貰い泣き・・なんて事もしばしばある様です。新たな一年の始まりに、自信を持ったり、喜びを感じながら過ごせる様に、こども達には励ましの声を掛けながら、外で体を動かし、いっぱい遊ぶ毎日です。みんなでどんどん大きくなっていこう!

◆乳幼児期のこどもの脳を成長させるのは、目．耳．鼻．口．皮膚の五感で受けた刺激です。

こどもの脳を育てる生活のポイント



1．　手作りの食事がいいね
2．　よく噛んでたべましょう
3．　朝ごはんで脳にエネルギー供給を！
4．　積極的な外遊び
5．　コミュニケーションなど人との関わりが脳を活性化
6．　睡眠をしっかりとりましょう

おねがい

新入園児の保護者のみなさんには、園から「すぐメール」の登録をお願いしましたが、やって頂けたでしょうか？兄弟のある場合も全員登録になります。在園児の子はすでに登録済みですが、新入園児の保護者の方の登録が終わりましたら、いざと言う時に入らないという事がない様に、一度園からテストメールを入れたいと思います。もし登録がわからない場合は、園のほうへ来て頂ければ一緒に行います。
４月２２日　正午にテストメールを入れますので、携帯の確認をお願い致します。